

サクラ国際アカデミー新治校

所在地：〒315-0073 茨城県かすみがうら市西野寺736

TEL:(029)956 - 3170

ホームページ: <https://www.kasumigaura-gakuin.com/>

E-mail: info@kasumigaura-gakuin.com

I. 学校紹介・理念

■ 学校の理念(ミッション)

「共に未来をはぐくむ」

本校は、少子高齢社会・人口減少社会を迎える中で、日本語教育を通じて学習者一人ひとりの成長を支え、文化や価値観の違いを越えて共に生きる社会を築くことを目指します。

その実現のために、かすみがうら市に根ざした日本語教育機関として、地域社会と連携しながら多文化共生と国際理解を促進し、そして、学びの成果を地域と世界に還元します。

■ 教育機関の目的

学習者一人ひとりの成長を支え、多文化共生を実現する社会の担い手として活躍できる基盤を築くために、下記の教育を提供する。

1. 学生が自己の可能性を引き出し、希望する進路に進むために必要な力と卒業後も社会の一員として活躍できる力を育てる。
2. 学生が日本社会との調和を持ちながら生活できるよう異文化理解を促進すると同時に、多様な場面に対応できるコミュニケーション力を育てる。
3. (廃校活用プロジェクトとして設立するという行政とのつながりを生かし)学生の自己実現・地域の活性化を循環的に支える仕組みを創出する。

■ 教育目標

1. B2レベルの日本語能力を身に着け、授業や日常生活において、言葉の意図を理解し、相談ややりとりを的確かつ効果的に行う力を定着させる。さらに、日本語を用いて自ら行動し学習や社会生活の中で目標を立てて取り組む力を育てる
2. 自国文化と他国文化の違いを認識し、相手の立場や意図を汲んだ返答ができるコミュニケーション力を定着させる。
3. 地域文化の理解や地域住民との交流の機会を多様に設け、学生の希望進路を実現するとともに相互理解と貢献を実現する。

Ⅱ．日本語教育課程について

本校には2つの日本語教育課程があります。

第1部・ 第2部	日本語教育課程	修業期間	収容定員	クラス数	入学時期
第1部 09:00～ 12:30	進学2年課程	2年	60名	3クラス	4月
	小 計		60名	3クラス	
第2部 13:00～ 16:30	進学1年6ヶ月課程	1.5年	40名	2クラス	10月
	小 計		40名	2クラス	
計			100名	5クラス	

日本語教育課程の修了時の到達目標は下記の通り定めています。

日本語教育課程	教育課程の到達目標	日本語能力の 到達目標
進学2年課程	1.円滑なコミュニケーションを可能にする日本語能力(到達目標:B2レベル) ・授業理解力 専門学校の授業において、標準的な速さで行われる日本語の説明や議論を理解し、教師の発話に込められた意味や意図を把握できる。自分の専門分野や興味のある分野であれば、要点や詳細を整理して理解することができる。 ・対話・協働力 教師や同級生と日本語で意見交換や相談を行い、理由や根拠を交えながら自分の考えを説明できる。学習課題や問題解決における協働の場面で、相手の意見を理解し、それに適切に応答しながら議論できる。 ・主体的学習力 日本語を用いて必要な情報を収集・整理し、専門知識を学び続けることができる。自分の興味や目標に沿って学習計画を立て、継続的に学習を発展させることができる。 2.多文化共生のための日本語活用力 ・多文化理解力 多様な文化や価値観を理解・尊重しながら、標準的な日本語で交わされる説明や意見交換を理解し、自分の考えを日本語で表現できる。 ・課題遂行力 日本語を用いて他者と協力し、理由や根拠を交えながら自分の立場を説明し、課題やプロジェクトを効果的に遂行できる。 ・状況対応力 学生が直面するさまざまな場面で、相手の発話意図を理解し、適切かつ柔軟に日本語でコミュニケーションを取ることができる。 3.地域理解と自己実現	B2

	・地域理解力 地域文化を理解し、地域住民との交流において、標準的な日本語で行われる説明や会話を理解し、自分の意見や感想を日本語で表現できる。 ・地域連携力 地域との交流の機会を活かし、日本語で意見交換や情報共有を行い、協働的に学びや活動に参加できる。 ・キャリア形成力 日本におけるキャリアパスを描くために、日本語で情報収集・相談を行い、自分の目標に沿った専門学校を主体的に選択し、自己実現につなげることができる。	
進学1年6ヶ月課程	1. 円滑なコミュニケーションを可能にする日本語能力(到達目標: B2レベル) ・授業理解力 専門学校の授業において、標準的な速さで行われる日本語の説明や議論を理解し、教師の発話に込められた意味や意図を把握できる。自分の専門分野や興味のある分野であれば、要点や詳細を整理して理解することができる。 ・対話・協働力 教師や同級生と日本語で意見交換や相談を行い、理由や根拠を交えながら自分の考えを説明できる。学習課題や問題解決における協働の場面で、相手の意見を理解し、それに適切に応答しながら議論できる。 ・主体的学習力 日本語を用いて必要な情報を収集・整理し、専門知識を学び続けることができる。自分の興味や目標に沿って学習計画を立て、継続的に学習を発展させることができる。 2. 多文化共生のための日本語活用力 ・多文化理解力 多様な文化や価値観を理解・尊重しながら、標準的な日本語で交わされる説明や意見交換を理解し、自分の考えを日本語で表現できる。 ・課題遂行力 日本語を用いて他者と協力し、理由や根拠を交えながら自分の立場を説明し、課題やプロジェクトを効果的に遂行できる。 ・状況対応力 学生が直面するさまざまな場面で、相手の発話意図を理解し、適切かつ柔軟に日本語でコミュニケーションを取ることができる。 3. 地域理解と自己実現 ・地域理解力 地域文化を理解し、地域住民との交流において、標準的な日本語で行われる説明や会話を理解し、自分の意見や感想を日本語で表現できる。 ・地域連携力 地域との交流の機会を活かし、日本語で意見交換や情報共有を行い、協働的に学びや活動に参加できる。 ・キャリア形成力 日本におけるキャリアパスを描くために、日本語で情報収集・相談を行い、自分の目標に沿った専門学校を主体的に選択し、自己実現につなげることができる。	B2

Ⅲ. カリキュラム概要について

		レベル	時間数		到達目標
			授業週数	週当授業時間数	
		入門	10週	200時間	・基本的な指示や簡単な質問を理解し、行動や短い発話で応答できる。 ・自分や家族、出身国・文化など身近なことについて、簡単な日本語で伝えることができる。できる。 ・身近な生活場面において、基本的なやり取りを日本語で行うことができる。 ・基本的な文字(ひらがな・カタカナ・初級漢字)を使って、身近な語句や短い文を書ける。
		初級1	10週	200時間	・日常生活に関する質問に日本語で簡単に答えられる。 ・自国の習慣や食べ物について日本語で紹介できる。 ・地域住民に日本語で基本的な質問ができる。
		初級2	10週	200時間	・日本語で短い意見や感想を述べることができる。 ・異文化交流の場面で、日本語で自分の考えを短く述べられる。 ・将来の希望や計画を日本語で短く伝えられる。
		初中級	10週	200時間	・自分の経験や出来事を日本語で簡単に話すことができる。 ・非日常的なこと「旅行中のトラブル、忘れ物」など簡単な言葉で説明できる。 ・自分の進学や進路の希望を日本語で表現できる。
		中級1	10週	200時間	・日本語で理由や根拠を交えて自分の考えを短く述べられる ・日本語を用いて文化の違いを簡単に説明できる ・地域ニュースや案内の要点を日本語で理解できる。
		中級2	10週	200時間	・授業中の説明や意見交換の要点を理解し、自分の意見を理由を添えて短く述べるができる。 ・相手の意見を聞いた上で、簡単な理由を添えて自分の立場や考えを日本語で短く述べるができる ・身近で個人的の関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた脈絡のあるテキストを作ることができる
		中上級1	10週	200時間	・複雑な授業内容や説明を日本語で理解し、主要な要点を把握し、必要に応じて詳細を理解できる。 ・日本語を使って文化的な違いと共通点を整理し、要点を比較できる。 ・自分のキャリアプランについて、日本語で理由や根拠を示しながら説明できることを通し、色々な人の感じ方、自分とは異なる視点から理解を深める。

		中上級2	10週	200時間	・日本語で自分と他者の意見を比較し、利点と欠点を論理的に整理しながら議論に参加できる 日本語を通じて文化的な背景の違いを説明し、相互理解を深めることができる 自分のキャリアパスについて、日本語で首尾一貫して説明し、適切にまとめることができる。
--	--	------	-----	-------	---

IV. 学校行事・体験活動について

本校では、教室での学びだけでなく、地域交流イベントや、文化体験会を実施することにより教室で学んだ日本語を実際に使う機会を創出するだけでなく日本の文化や社会に触れることにより、学生が日本を理解し、長期的に日本に定着するための基盤となる感覚や力を育てます

【主な行事・活動】

春: 地域交流: 環境美化活動、専門学校合同説明会

夏: 文化体験(七夕)、高校生交流イベント、

秋: 介護施設ボランティア、文化体験会(農業体験)、文化体験会(七五三)、文化体験会(工場見学)、

冬: 文化体験会(着物、茶道、書道)、文化体験会(陶芸体験)、高校生交流イベント、スピーチコンテスト

V. 学生サポート体制について

本校では、留学生の皆さんが安心して学び、生活できるように、さまざまなサポート体制を整えています。

◆生活指導

留学生の皆さんが安心して生活できるように、入国前から日本の生活に関する知識を伝えるだけでなく入国後の生活オリエンテーションでは、日本で生活するための心構えやルールをお伝えします。

また、市役所への届出や銀行口座開設、国民保険の加入については、円滑に日本の社会で生活できるように本校がサポートします。

◆学習支援

継続的に学習をする力を身につけるための支援をしています。

クラスの進捗に追いつくことができない場合は、補講も実施しております。

また、日本語を使う機会を増やすために、地域の市役所やコミュニティセンターと連携し、地域のイベントについては学校から積極的に留学生の皆さんに発信してまいります。

◆医療サポート

近隣の病院と提携し、緊急の時はもちろんのこと、体調不良を感じた時も本校職員が同伴して病院に行きます。

◆住居サポート

●学生寮

近隣に親族がいる場合を除き

①アパート名 メイプルハウス

所在地: 茨城県かすみがうら市下稻吉1698-1

部屋の概要: 2LDK 51平米 校舎までバスで10分

②アパート名 ニュークレストール七福

所在地: 茨城県かすみがうら市下稻吉3287-3

部屋の概要: 2LDK 58平米 校舎までバスで10分

単位: 円

費用項目	金額	備考
入寮費	40,000円	
寮費/月	20,000円	寮は共同生活 水光熱費は寮費の中に含む。
合計	60,000円	

●アパートの紹介

本校では、留学生も多く利用している不動産サービスを紹介します。本校職員が契約から入居までサポートします。

・一誠商事株式会社 神立支店
茨城県土浦市中神立町32-7

VI. 施設紹介

本校は元々小学校の校舎として利用していた校舎であるため、非常に充実した環境になっております。

教室3室、教員室、事務室、図書スペース、保健室、面談室があります。

また、原則希望者には全員に学生寮を案内、自転車を貸与する等、通学や生活にも便利な住環境が整っています。



VII. 進学指導について

本校では、専門学校への進学を目指す学生のために、一人ひとりに合った個別指導を行っています。目標や日本語レベルに応じて、進路相談から出願準備、面接対策まで、丁寧にサポートします。

また、入国前から本人の日本に留学する目的を聞くとともに在学中も何度も目的を確認することにより留学生が思い描くキャリアの実現を図ります。

【主な支援内容】

- ・専門学校合同説明会
- ・志望校選定のアドバイス
- ・願書、志望理由書の書き方指導
- ・面接練習(個別・グループ)

【目指す進学先の例】

- ・筑波研究学園専門学校
- ・つくばビジネスカレッジ専門学校
- ・つくば自動車大学校
- ・アール医療福祉専門学校

VIII. 教職員の紹介

本校には、日本語教育の経験が豊富で、留学生一人ひとりに親身に寄り添う教職員が所属しています。授業では「わかりやすく」「楽しく」「実践的に」を大切に、日本語力だけでなく、考える力や表現力も育てます。また、担任制を導入しており、日々の学習だけでなく、生活の悩みや進路の相談にも丁寧に対応しています。進学・就職に向けた面接指導や書類添削、生活トラブルへの対応など、学生が安心して学校生活を送れるよう、教職員全員でサポートしています。学生の皆さんが夢を実現できるよう、教職員一同、全力で応援しています。

【教職員の構成】

校長 1名
 主任教員 1名
 主任教員以外の教員 5名（本務等2名、非常勤3名）
 事務職員 2名

【校長からのメッセージ】

地域の方々と行政の協力のもと、かつて子どもたちが通った小学校を再活用して設立されました。この学び舎を再び「学びの場」として蘇らせ、今度は世界の若者たちが集い、共に学び、未来へ羽ばたく場所とすることが私たちの願いです。

本校では、日本語をただ教科として学ぶのではなく、「日本語を使って人とつながり、社会と関わる力」を育てることを大切にしています。地域での交流や実践の機会を通じて、学生が自分の言葉で考え、自ら行動し、互いに支え合いながら成長していくその姿こそが、私たちが目指す「共に未来をはぐくむ」教育のかたちです。

かすみがうら市という自然と人の温かさに恵まれた環境の中で、学生一人ひとりが安心して学び、自分の可能性を広げていけるよう、教職員一同、全力で支援してまいります。サクラ国際アカデミー新治校が、学生にとっても地域にとっても、新しい未来を育てる場となることを心から願っています。

【主任教員からのメッセージ】

サクラ国際アカデミー新治校では「共に未来をはぐくむ」という理念のもと、学生一人ひとりが自分の力で未来を切り開けるよう、学びと成長を支えています。私たちは、学生が「日本語を勉強する」だけでなく、「日本語で考え、話し、行動できる力」を身につけることを目指しています。授業で学んだ日本語を地域の人々との交流や日々の生活の中で使いながら、「生きた日本語」を学ぶことができるのが本校の特徴です。

本校があるかすみがうら市は、自然が豊かで人の暖かい地域です。地域行事への参加やボランティア活動など、日本人と関わる機会も多く、日本語を使って実際にコミュニケーションを取る場が数多くあります。こうした経験を通して、言葉だけでなく、文化や人との関わり方も学ぶことができます。

サクラ国際アカデミー新治校での学びが、皆さんにとって「日本語を使って生きる力」を育てる時間となり、将来の夢へとつながることを心から願っています。

IX. 地域紹介

本校が所在するかすみがうら市西野寺は、茨城県南部に位置し、日本第二の湖である霞ヶ浦に隣接する自然豊かな地域です。

四季折々の風景を楽しめる穏やかな環境でありながら、近隣には商業施設や医療機関も整っており、生活に必要な環境が十分に整備されています。

市内にはJR常磐線の神立駅があり、東京方面やつくば方面へのアクセスも良好です。

神立駅からは水戸駅まで約30分、上野駅までも約70分で行くことができ、学習や生活の拠点として非常に便利な立地です。

また、市内にはバス路線も充実しており、通学やアルバイト、買い物などの日常生活にも困らない交通環境が整っています。

自然と利便性が調和したかすみがうら市は、落ち着いた生活を送りながら学びに集中できる環境であり、地域の人々も温かく、留学生が安心して日本での生活をスタートできる地域です。

